

打出のこづち



打出きよふみ事務所

〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27 近藤ハイツ1階

TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715 Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問

令和3年9月16日の県議会一般質問において、「学校等における新型コロナウイルス感染症対策」、「子どもの交通安全対策」、「新石川県立図書館」について発言をさせていただきました。特に、令和4年度に地元小立野地区で開館される新図書館について、子ども向けエリアの充実や新たな図書館カードの作成を求めたところ、前向きな答弁を得ることができました。

学校等における 新型コロナウイルス感染症対策について

Q1 北信越総体の出場辞退を余儀なくされた選手に対して、代替の記録会の実施等を含め、どのようなケアを行うのか。

A. 三年生については、大学入試の評価につながる大会への参加を希望する選手には、今後開催される大会でベストを出せるようフォローする。

Q2 「合宿、県外への遠征練習試合、県外チームを招いての練習試合禁止」、「県内の学校との練習試合禁止」、「部活動中止」を決定した背景や考え方について、生徒に対するメッセージを聞く。

A. 部活動の意義や大切さは十分理解しつつも感染拡大防止を優先せざるを得ない状況であり、学校で仲間とともに活動ができないことに不安やつらい思いを抱えているかもしれないが、苦渋の判断であることを理解してほしい。

Q3 今回の部活動制限の決定にあたり、生徒から意見を聴取し、意見反映に努めたのか。

A. 生徒から意見を聞いて判断するというよりも、その時々々の感染状況を踏まえ、部活動の形態ごとの感染リスクの度合いを勘案して判断していくものと考えている。

Q4 部活動制限の解除の時期、基準が示されていないが、どのように考えているのか。

A. 感染ステージを踏まえ判断していく。

Q5 学校における感染リスクをどのように検証し、どのような科学的エビデンスに基づき、文部科学省のガイドラインよりも厳しい休校基準を策定したのか。



県議会一般質問で発言する

A. 学校内で感染がどこまで広がっている可能性が高いかを設置者が科学的に判断することは困難であるが、感染防止対策を徹底するため、感染者が一人でも確認された段階で学校全体を臨時休校としている。

Q6 学級閉鎖、学年閉鎖という選択肢を排除し、学校全体を休校にすることによって生じるデメリットを上回るメリットを聞く。

A. 保健所の調査、PCR検査が迅速に進められるよう、学校側で感染者の行動範囲や接触者の調査を行い、結果を保健所に伝えており、これまで臨時休校とした県立学校の休校期間は1日から2日程度であり、学びの保障の面で影響は最小限に抑えられている。

Q7 休校措置を実施せざるを得ない事態となった場合、自宅待機する子どもたちの学ぶ権利をどう保障するのか、具体的方策を聞く。

A. 学習支援ソフトを活用し、生徒のスマホやパソコンに学習課題を提示したり、朝礼や面談などをスムーズに行うことができるよう準備を整えている。

Q8 感染リスクをゼロにするために学校活動を取り止めるのではなく、学校活動を継続するために、リスクを低減させる工夫をすべきと考えるがどうか。

A. その時々々の感染状況に応じて必要な対応をとるよう県立学校に指示している。例えば修学旅行は、中止することなく、県内等へのバス旅行を実施するよう促している。

子どもの交通安全対策について

Q1 登下校中の交通事故をなくすために、どのように対策を強化したのか。

A. 横断歩行者妨害等の違反の取り締まりを強化するとともに、各市町の教育委員会等とも連携しながら、児童生徒が自らの安全を守る行動をとることができるよう交通安全教育を推進している。

Q2 県内の交差点における歩車分離式信号機、押しボタンによる歩車分離式信号機の導入箇所数と、導入により期待される効果を聞く。

A. 歩車分離式信号機は 60 交差点、うち押しボタン式は 2 交差点で運用している。横断歩行者と車の流れが分離されることから横断歩行者の安全が確保される一方、車両の待ち時間が長くなることから交通混雑の発生が懸念される。

Q3 通学路にある交差点への歩車分離式信号機、押しボタンによる歩車分離式信号機の導入を強力に進めてはどうか。

A. 地域の方々や学校等の要望を踏まえつつ、道路管理者等と協議しながら導入の効果と影響を総合的に判断し、計画的な整備を検討したい。

Q4 通学路における合同点検の結果を踏まえ、道路管理者及び各警察署は、迅速に対策を講じる必要があると考えるがどうか。

A. 道路管理者として、区画線や防護柵の設置、歩道整備などの対策案を検討しており、まとまり次第、速やかに実施していく。

各警察署においては、道路管理者の協力も得ながら実効性のある交通安全対策を実施し、できるだけ早期に危険性を解消して通学路の安全確保に努める。

新石川県立図書館について

Q1 子ども向けエリアについて、どのような工夫を考えているのか。また、新図書館にも、幼児が頭や体を使って遊ぶスペースを設け、これまで以上に充実させてはどうか。

A. 乳幼児向けや小学生向けなど年齢によってゾーン分けを

行うほか、保護者向けに子育てに関する図書を並べたコーナーを設け、幅広い年齢層が同時に利用しやすい空間づくりを行う。また、高低差など変化に富んだ形状の書架や家具の配置、お絵描き等ができるタブレット端末の導入、床面に投影した映像に手足を触れると映像が動く仕掛けなど、頭や体を使って遊べる多種多様な工夫を凝らし、全国でも類を見ない魅力あふれる図書館にしたい。



子ども向けエリア（イメージ図）

Q2 開館を記念し、新たなデザインの図書館カードを作成してはどうか。

A. 開館 PR の手段として有効なものと考えており、図書館カードのデザインを一新したい。

お住まいの地域で困ったことはございませんか？

〔解決事例〕

転落防止柵の設置

菊川にお住まいの方から、「夜間、水路に気付かず転落する自転車利用者がおり、救急車を呼ぶような事故が何回も発生している。死亡事故など大事故が起きる前に対応してもらえないか」とのご連絡をいただきました。水路を管理する金沢市役所に住民の声を届けたところ、早急にご対応いただき、転落防止柵を2つ設置していただきました。

■ 対策前



■ 対策後



地域でお困りのこと、
お気軽にご連絡ください！



打出きよふみ事務所

金沢市小立野 3-23-27 近藤ハイツ 1 階
TEL：076-260-1655 / FAX：076-209-6715
E メール：info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問の録画映像を
こちらで視聴することが可能です。▶
ぜひご覧ください。

